

図 3-9 亀田西小学校区の災害リスク

#### 4) 社会実験（ワークショップ）のねらい

モデル地区の特徴と社会実験（ワークショップ）のねらいを下表に示す。

表 3-1 社会実験（ワークショップ）のねらい

	特 徴	ワークショップのねらい
①中央区 (有明台小学校区)	地震による災害リスクが高い。 市中心部にあり住宅地と商業施設が混在している地域。昼夜間で人口の変動も大きく、人口密集地でもある。	災害発生時間帯などにより被災者の構成が大きく異なることから、住民だけでなく企業・商業施設も含めた取組みと課題について検討する。
②江南区 (亀田西小学校区)	内水による災害リスクが高い。 市中心部から離れたベッドタウン的場所に位置し、昔からの地域と新興の地域が共存する地域。 地域には亀田製菓等の工場があり、地域内への移動と地域外への移動があり、昼夜間人口比率は100%となる地域である。	古くからの地縁コミュニティと新興地域とのつながりについての取組が必要である。 また、災害発生時間帯などにより被災者の構成が大きく異なり、企業も含めた取組みと課題について検討する。
③北 区 (松浜小学校区)	港湾地域であり、化学工場などの工業地帯と隣接する地域であり、住民の不安度が高い。 新潟東港からも近く、外国人居住者も増加してきている。	自然災害に加え、危険物施設が存在するため、それらを踏まえた地域の取組みが必要である。 また、異なる地域コミュニティを形成している外国人との地域防災体制づくりに向けた取組みと課題について検討する。

### (3) 第2回社会実験の実施

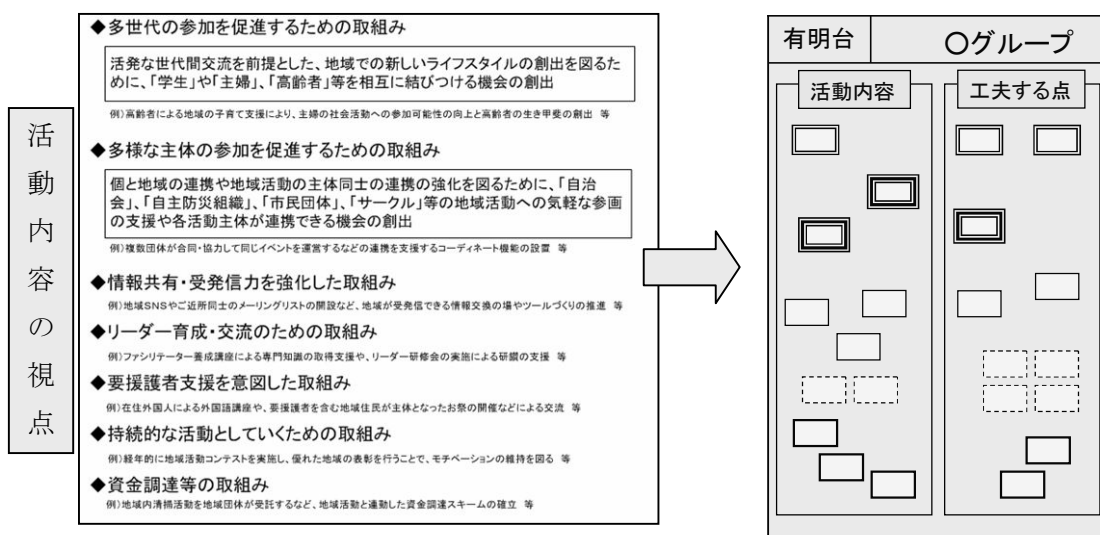
#### 1) 実施日時および場所

有明台小学校区： 2月 2日（月）午後7時～ 場所：有明台小学校  
 松 浜小学校区： 2月 3日（火）午後7時～ 場所：北出張所  
 亀田西小学校区： 2月 4日（水）午後7時～ 場所：江南区役所

#### 2) 実施内容

①グループ作業：地域コミュニティを活性化するための方法を考えるために、地域で取り組む「活動内容」と「工夫する点」を検討した。

- ・「活動内容」と「工夫する点」について各自で付箋紙に書き込む
- ・各自記入した付箋紙の内容を順番に説明し、グループ内での共有を行った。
- ・グループとしての意見の集約化を図り、とりまとめた。



②グループ発表：地域で取り組む「活動内容」と「工夫する点」について議論

- ・各グループのアイデアをグループ間で共有した。
- ・各グループのアイデアを踏まえ、具体化するための方法などについて意見交換した。

③全体のまとめ：全体ファシリテーターによる全体意見と方針に関する総括

- ・総括として、全体を通じての意見のとりまとめを行った。
- ・第3回ワークショップに向けた方向（＝具体的な行動計画のイメージ）付けを行った。



写真 第2回 社会実験の状況